

## 公衆衛生学

[講義] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○田中真樹 遠藤輝夫 吉田 繁 松尾淳司 江本美穂 山崎智拓 沖野久美子

## 【概要】

人間を取り巻く種々の社会的、自然的環境要因による健康影響ならびに職業性疾患の発生要因、予防について学ぶ。また、公衆衛生に関連する統計情報や手法を理解する。本講義では1)公衆衛生・健康の概念、2)衛生統計、3)疫学、4)感染症、5)栄養と食品衛生、6)ライフスタイルと健康・保健、7)精神保健、8)環境と健康、9)環境問題と環境汚染、10)産業保健、11)衛生行政と社会保障・社会福祉、12)国際保健等について学修する。

## 【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識を習得するために、公衆衛生の基礎的学識を学び説明できる。
- 2) 公衆衛生の意義と使命を理解し、科学的根拠に基づき予防医学に貢献する。
- 3) 疫学的研究法を理解し、疾病の発生原因を科学的に解析する。
- 4) 公衆衛生に係る諸活動に必要な知識を習得し、実践できる。
- 5) 地域や国際的観点から、公衆衛生の相違を理解し、予防医学に必要な要因を明らかにする。
- 6) 公衆衛生と臨床検査の関連を明らかにする。
- 7) 臨床検査領域における様々な問題を公衆衛生の面から解析する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	公衆衛生の意義	・公衆衛生の意義と使命 ・一次予防～三次予防 ・公衆衛生上の人口問題 キーワード：健康の概念、一次予防～三次予防、ICF、健康管理	田中真樹
2	衛生統計(1)	・人口静態統計 ・人口動態統計 キーワード：国勢調査、人口ピラミッド、年齢区分、死亡	江本美穂
3	衛生統計(2)	・人口動態統計 ・世界の保健状況 ・疾病・障害統計 キーワード：婚姻・離婚、生命表等、国民生活基礎調査、患者調査	江本美穂
4	疫学	・疾病の発生原因 ・疫学的研究方法 キーワード：因果関係、誤差、記述疫学、分析疫学	江本美穂
5	感染症(1)	・感染症の原因となる病原体 ・感染源 ・感染経路 キーワード：病原体、感染源、感染経路、感受性	松尾淳司
6	感染症(2)	・流行を左右する要因 ・感染症法 ・感染症法の分類 ・感染経路別の予防方法 キーワード：新興感染症、院内感染、予防接種、感染症流行予測調査	松尾淳司
7	栄養と食品衛生(1)	・食品衛生に係る法制度 ・食中毒の種類 キーワード：食品衛生法、毒素型食中毒菌、感染型食中毒菌、発生状況	吉田 繁
8	栄養と食品衛生(2)	・代表的な食中毒原因物質、中毒症状、予防法 ・細菌性食中毒 ・ウイルス性食中毒	吉田 繁

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄生虫性食中毒</li> <li>・自然毒：</li> <li>・食品添加物</li> </ul> キーワード：ノロウイルス、アニサキス、フグ、アレルギー様食中毒	
9	母子保健 学校保健 成人保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健の指標</li> <li>・学校保健の役割</li> <li>・学校における保健管理</li> <li>・学校における感染症</li> <li>・成人保健の動向</li> <li>・生活習慣病と予防対策</li> </ul> キーワード：出産、新生児・乳児・小児、学校感染症、生活習慣病	沖野久美子
10	高齢者保健 精神保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人保健（福祉）の意義と動向</li> <li>・在宅医療の現状と法制度</li> <li>・主な精神・神経疾患</li> <li>・薬物依存・アルコール依存症</li> </ul> キーワード：老人保健、認知症、在宅医療、精神保健対策	沖野久美子
11	環境と健康（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内環境</li> <li>・上水、下水</li> <li>・廃棄物の種類</li> <li>・悪臭、環境たばこ煙と受動喫煙</li> </ul> キーワード：空気環境、上下水、廃棄物、たばこ	山崎智拓
12	環境と健康（2） 環境問題と環境汚染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染物質</li> <li>・水質汚濁</li> <li>・土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、食品公害等</li> <li>・公害</li> <li>・地球規模の環境問題</li> <li>・リスク分析・評価</li> </ul> キーワード：地球温暖化、水質汚染、土壌汚染、四大公害病	山崎智拓
13	産業保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働環境</li> <li>・労働条件</li> <li>・職業病</li> <li>・労働衛生管理</li> </ul> キーワード：労働災害、健康診断、THP、頸肩腕症候群	遠藤輝夫
14	衛生行政と社会保障・社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生行政</li> <li>・医療制度</li> <li>・地域保健</li> <li>・多職種連携とチーム医療</li> </ul> キーワード：保健所、医療計画、社会保険、社会福祉、多職種連携、チーム医療、地域保健	遠藤輝夫
15	国際保健 環境検査法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際機関、医療協力</li> <li>・世界の保健状況</li> <li>・室内環境検査</li> <li>・飲料水の水質検査</li> <li>・下水の水質検査</li> </ul> キーワード：WHO、プライマリ・ヘルスケア、気温、気湿、気流、輻射熱、SS、COD、DO、BOD	田中真樹

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

定期試験(筆記試験) 85% 小テスト 15%

**【教科書】**

照屋浩司 他著 「最新臨床検査学講座 公衆衛生学 2026年版」(医歯薬出版株式会社)

**【備考】**

その都度プリントを配布する。  
クリッカー使用し、学生の理解度を把握する。  
Google Formを利用して学習課題を提示する。

**【学修の準備】**

予習は、次回の授業範囲の教科書を読んでおくこと(80分)  
復習は、教科書や配付資料、小テストを活用し学習を深めること(80分)

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。  
(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

**【実務経験】**

田中真樹(歯科医師)、遠藤輝夫(臨床検査技師)、吉田 繁(臨床検査技師)、沖野久美子(臨床検査技師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での実務経験を活かし、公衆衛生や予防医学の意義に関する基本的知識を講義する。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している